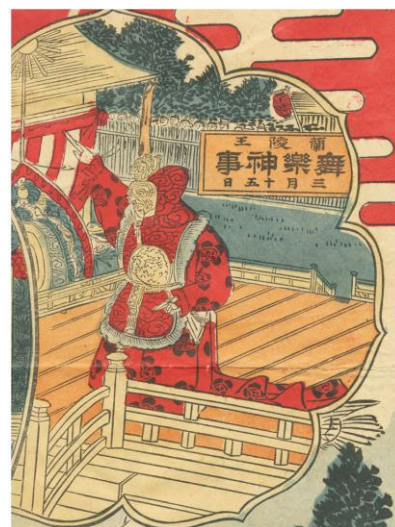


“あったさん” ～ 今 昔 ～

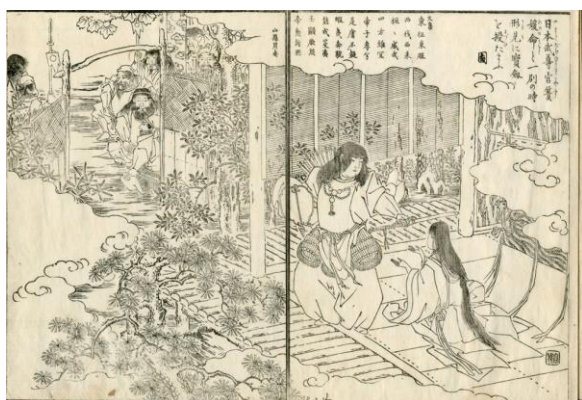
この地方で「あったさん」と呼ばれている熱田神宮は、現在も観光や参拝の地として人々に親しまれています。また「熱田」は、古くは熱田社を中心とした門前町であり、東海道唯一の陸と海に分岐点であっただけでなく、美濃路・佐屋街道といった各地方からも交通と文化が集まってくる場所でもありました。江戸時代には東海道五十三次の宿場町として、多くの人々が集まり、暮らす東海道随一のにぎわいをみせていました。

第8回展示では、まち（街）や人とともに歩んできた「あったさん」と「熱田」について江戸時代以降に発行された書物や図面などから、様々な神事やまつりの様子、人々の関わりなどがしのばれる資料を選んでご紹介させていただきます。ぜひ、お立ち寄りください。



▲熱田神宮御神祭図より

(部分) 舞楽神事



▲尾張名所図会前編より

日本武尊と宮簀媛

展示替え：平成25年4月1日（月）から

開設時間：区役所開庁時間

無料 ご自由にご鑑賞ください

場 所：熱田区歴史資料展示コーナー
(区役所1階)

問 合 せ：熱田区役所まちづくり推進室

TEL 683-9425

※7月ごろに一部作品について展示替えを予定しています。

(福島コレクションについて)

熱田区に関する郷土資料の収集家として知られる、故福島重夫氏が30年の歳月を費やして収集された約1200点もの熱田を中心とした貴重な歴史資料(錦絵、地図等)です。昭和59年6月の熱田社会教育センター(現 熱田生涯学習センター)の開館にあたり、名古屋市(熱田社会教育センター)に寄贈されたものです。

(熱田区歴史資料展示コーナーについて)

熱田区歴史資料展示コーナーは、平成22年11月に開設し、熱田区歴史資料ボランティア(代表 周防有彦さん以下10名)の皆さんの活動により運営されています。